

— 城端が誇る2つの伝統芸能 —

江戸後期から歌い継がれてきた城端曳山祭の「庵唄」と、
平家落人伝説を今に伝える城端むぎや祭の「むぎや踊り」、
ここ、じょうはな座でしか味わうことのできない芸能の数々をご堪能下さい。

◆庵唄公演では、三味線、篠笛、太鼓の優雅で哀調を帯びた音色のお囃子に始まり、今に唄い継がれてきた数十曲の庵唄の中から厳選された曲の数々をお楽しみ頂けます。また、背景には豪華絢爛な曳山が映し出され、庵唄にのせて優美に舞う日本舞踊も披露されます。

◆むぎや公演では、むぎや節をはじめとした富山県を代表する民謡を中心に、素朴でどこか哀愁を感じさせる歌詞と、調べにのせて踊る姿をご覧頂けます。紋付き袴に着物といった衣装を身に纏い、菅笠を手に踊る勇壮な姿を、味わって頂けたら幸いです。

開催日	令和6年度 出演団体	
	庵唄	むぎや
4月13日(土)	城端庵唄保存会 [踊入り]	花 筏
5月25日(土)	城端庵唄保存会 [踊入り]	東 麦 会
6月 8日(土)	東 下 町	四 葉 会
7月27日(土)	出 丸 町	花 筏
8月24日(土)	西 下 町	四 葉 会
9月28日(土)	東 上 町	野 下 町
11月 9日(土)	城端庵唄保存会 [踊入り]	花 筏

※出演団体によって披露する演目及び公演時間が異なります。



ユネスコ無形文化遺産 登録名称「城端神明宮祭の曳山行事」

国重要無形
民俗文化財

曳山祭

令和6年5月4日(祝・土)【宵祭】・5日(祝・日)【祭礼日】開催
約300年の伝統を誇る、絢爛豪華で優雅なお祭—

越中の小京都・城端の春を彩る、城端神明宮の祭礼。先頭に立つ獅子舞と剣鉾が悪霊を鎮め邪鬼を払い、続く傘鉾が神霊をお迎えます。その後を庵屋台の情緒あふれる庵唄、伝統の城端塗の粋を尽くした曳山が続きます。夕刻からは提灯山となり、日中とは違う風情を楽しめるのも魅力。また、神様を迎える6箇所(山宿)が見られる宵祭りも必見です。平成14年には国の重要無形民俗文化財に指定、平成28年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。



むぎや祭

令和6年9月15日(日)開催

清々しい秋風が吹き始める、9月—。
城端は心に染みる「むぎや」の唄と踊りに酔いしれる。

富山県を代表する民謡・むぎや節の哀調を帯びた旋律と、男衆が織りなす勇壮で風格のあるむぎや踊りのコントラストが多くの入客を魅了し続ける祭り。また、むぎや踊り競演会やむぎや節コンクール全国大会、総踊りなども開催されます。

情緒あふれる街並みで、各町内や民謡団体がむぎや節などを披露する街並み踊りも必見です。

